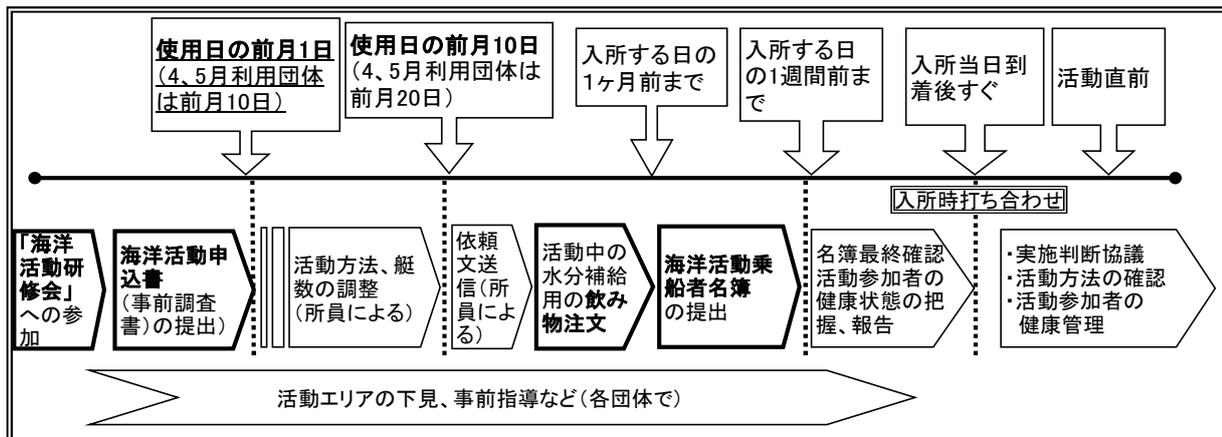


令和8年度 静岡県立焼津青少年の家 海洋活動（カヌー漕艇）実施の手引き

◇実施までの流れ◇



目次

- P1 海洋活動(カヌー漕艇)
 - P2 海洋活動実施までの流れ
 - P4 海洋活動が実施される条件
 - P6 海洋活動申込書(事前調査書) 【記入例】
 - P7 本所利用における海洋活動について【見本】
 - P8 海洋活動乗船者名簿 【記入例】
 - P9 海洋活動における地震、津波への対応について
 - P10 活動参加者への注意事項 【事前指導の資料】
 - P11 海洋活動に参加するみなさんへ 【事前指導の資料】
 - P13 カヌーに乗るみんなへ！ここがポイントだ！【事前指導の資料】
 - P14 海洋活動研修会実施要項 ※研修会の申込みは本所ホームページより行ってください。
 - P15 海洋活動申込書(事前調査書)
 - P16 海洋活動乗船者名簿
 - P17 参考資料 乗船者名簿の座席指定・座席番号札について
- 提出用**
(本所ホームページからダウンロードしてください。)

【海洋活動の安全体制における、団体指導者をお願いする役割と責務について】

- ① 海洋活動の内容の理解と計画立案及び団体指導者間での内容と目的についての共通理解
- ② 活動参加者への事前指導(意義、目的、安全指導等)の徹底
- ③ 活動参加者の人数と健康状態の管理、把握、乗船者名簿の作成と活動参加者への周知
- ④ 当日の活動実施についての諸条件の確認、所員との協議、団体指導者間での情報の共有、徹底

※ 海洋活動を安全かつ有意義なものとするため、団体指導者の皆さんの御協力をお願いします。

海 洋 活 動（カヌー漕艇）

1 ねらい（めあて）

(1) 自然(海)を感じよう

- ・ 波、風、潮、生物、人との関わり、美しさ、厳しさなどを五感を通して感じ取る。
- ・ 海から、街の様子を眺める。（普段とは違う視点で風景を捉える。）

(2) 力を合わせよう

- ・ 協力する大切さ、すばらしさ、尊さを学ぶ。

(3) あきらめないで最後まで

- ・ 忍耐力、根気強さ、達成感を味わう。

※ ねらいについては、団体の活動目的に関連付け明確にしておくこと、より良い体験となります。単なる遊びにならないよう動機付けをするとよいでしょう。

2 活動できる年齢

- ・ 満年齢3歳以上

※ 3歳から就学前の幼児が乗船する場合は、3歳から就学前の幼児1人に対して1人以上の大人（団体指導者・保護者等）が付き添うこと。

※ 小学1～3年生が乗船する場合は、小学1～3年生2人に対して1人以上の大人（団体指導者・保護者等）が同乗すること。

3 活動できる期間

- ・ 4月2日から11月6日までの7か月間

4 カヌーの乗船人数（保有数8艇）

- ・ 1艇8座席（中学生以上は最大8人まで、小学生は1座席2人掛けにして最大で16人の乗船も可能）※1座席、横幅が約58cm
- ・ 8番席とは別に、最後尾の座席には、艇長（本所海洋指導員）が乗船し、舵取りを行う。
- ・ 参考にP17を御覧ください。



海洋活動実施までの流れ

<入所日前日まで>

1 目的やねらい	どのような目的やねらいで実施するのか、団体として明確にしておいてください。決して遊び気分で行うことがないようにしてください。
----------	--



2 海洋活動研修会への参加	<p>海洋活動における規定、乗船条件、安全体制等の運営詳細については、海洋活動研修会で説明します。また、実際に漕艇活動を行っていただき、活動に対する理解を深めていただきます。</p> <p>※ <u>団体指導者が海洋活動研修会に参加をしていない場合は、海洋活動を実施することができません。</u></p>
---------------	--



<p>3 海洋活動申込書の記入、提出</p> <p>記入例…P 6 用紙 …P15</p> <p>使用日の前月1日まで (4、5月利用団体は前月10日まで)に提出</p>	<p>以下の点を考慮して、記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体の目的 ・ 目的に合う活動方法、コース ・ 団体の規模(人数)で可能な方法、コース ・ 安全に活動するために、本所所員に伝えておくこと (団体の構成、配慮を要する活動参加者等) <p>※ 不明な点があれば所員に御相談ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>海洋活動は気象条件により中止となる場合がありますので、必ず代替案を立ててください。</p> <p>海洋中止(強風、波浪、小雨など)→屋外活動は実施できる→<u>屋外活動</u></p> <p>海洋中止、屋外活動も中止(大雨、雷など)→<u>屋内でできる活動</u></p> </div>
---	---



提出された海洋活動申込書をもとに、担当所員が乗船計画案を作成します。
(団体の規模、他団体との希望の重なり等により、希望に添えないことがありますので御了承ください。)

<p>4 乗船者名簿作成 提出</p> <p>記入例…P 8 用紙 …P16 参考 …P17</p> <p>入所日1週間前までにメール、郵送で提出</p> <p>事前準備、指導</p>	<p>使用日前月10日以降に「本所利用における海洋活動について」(P7)をメールで送信します。そこに記載された乗船計画(実施艇数、使用する艇番号等)を確認し、乗船者名簿を作成、提出してください。乗船者名簿の控えは活動中携行してください。</p> <p>※ 提出後に名簿に変更が生じた場合には、ただちに連絡してください。</p> <p>※ 緊急時に備え、緊急連絡先名簿を携行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙「活動参加者への注意事項」(P10)及び「海洋活動に参加するみなさんへ」(P11~12)を参考に、団体で事前指導をしておいてください。 ・ 海洋活動を計画される団体には、<u>熱中症等対策のためにドリンクをお飲みいただきます。</u>ドリンクの扱いは「水分補給について」(P10)を御覧ください。
--	---

<入所日当日>

<p>1 入所時打合せ</p>	<p>「乗船者名簿」を確認します。</p> <p>※ 欠席者、体調不良者による座席の変更がある場合は確実に所員に伝えてください。</p>
↓	
<p>2 実施判断</p> <p>午前の活動… 8:35</p> <p>午後の活動…12:30</p>	<p>本所事務室前にて、以下の点について担当所員と団体指導者で行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施可否の判断、気象状況等の説明 ・ 活動内容、コース等の確認（海洋活動申込書をもとに） ・ 活動参加者の人数及び健康状態の確認 ・ 活動開始までの流れを説明 ・ （中止の場合）代替活動についての確認、連絡 <p>※ 中止基準は、「気象条件における活動中止の基準」（P4～5）に記載されています。</p>
↓	
<p>3 本所出発</p> <p>艇庫へ移動</p> <p>午前の活動</p> <p>… 9:00出発</p> <p>午後の活動</p> <p>…13:00出発</p>	<p>団体指導者の引率で、艇庫へ移動します。出発前に、以下の点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 服装、持ち物を確認する。（帽子と水分を忘れずに！） （P13「カヌーに乗るみんなへ！ここがポイントだ！」を参照） ・ 手洗い、トイレを済ませる。 ・ 乗船する艇ごとに座席順で整列する。（出発時刻の15分前を目安に） ・ 座席札を配付し、着用する。（座席札配付には時間がかかります。事前に団体で配付方法の打合せをしてください。） <p>※ 出発時刻の遅れが活動の遅れにつながります。時間を厳守して出発してください。</p>
↓	
<p>本所から艇庫までは、約700m(徒歩で10分程度)です。(必ずスロープをご利用ください。)</p>	
<p>4 艇庫到着</p> <p>活動開始</p>	<p>担当所員、海洋指導員の指導で活動を行います。乗船前にレクチャーを行います。（1団体が前半、後半に分かれ活動する場合にも、レクチャーは全体で行います。）</p> <p>活動中の団体指導者の役割は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全担当所員、艇長と団体の指導者全員で最終ミーティングを行い、コース状況や配慮すべき活動参加者について確認する。※最終判断とし、記録に団体責任者の署名をいただきます。 ・ 活動参加者とともにカヌーに乗船する。（全ての艇に乗船する必要はありません。） ・ 活動参加者の健康状態に気を配る。休憩時や乗換え時に活動参加者の健康観察をする。緊急時に備え、乗船者名簿と緊急連絡先名簿を携行する。 ・ 休憩時にドリンクの配布と空容器の回収をする。（レストラン部への注文品は、休憩場所への運搬、回収した空容器の運搬は所員が行います。P10参照）
↓	
<p>5 活動終了 帰所</p> <p>艇庫出発時間の目安</p> <p>午前の活動…11:45</p> <p>午後の活動…15:45</p>	<p>担当所員が艇庫で活動の振り返りを行い、団体指導者の引率で帰所します。</p> <p>（原則、1団体が前半、後半に分かれて活動した場合にも、振り返りは全体で行います。）</p> <p>※ 帰所後、座席札を回収し、事務室前に返却します。（返却時、座席札の枚数を確認してください。）</p>

気象条件における活動中止の基準

次の(1)から(7)までの場合は、活動を中止する。

- (1) 当日の焼津市の天気予報で、大雨、洪水、暴風、波浪、高潮のいずれかの警報（特別警報を含む）が発表されているとき。
- (2) 当日の焼津市に注意報が発表されている場合に、注意報の内容と活動現場の気象状況とを総合的に分析し、安全に活動が行えないとき。（別表1）
- (3) 注意報未発表でも、安全な活動が行えないと判断したとき。（別表1）
- (4) 活動中に、活動エリアにおいて、局地的に短時間で気象が悪化すると予想されたとき。
 - ・ 急激な風速の上昇、突風の発生が予想される。
 - ・ 雷雲の発生が予想される。
 - ・ 雨量の急激な増加が予想される。
 - ・ 観天望気による、天候の急変の兆候が見られたとき。

(例示)

- 高草山全体が霧や雲で見えにくくなってきた。
- 風向きが駿河湾寄り（北東）に急に変わった。
 - ・ 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
 - ・ 雷鳴が聞こえたり雷光が見えたりする。
 - ・ ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
 - ・ 大粒の雨や雹が降り出す。

(気象庁「局地的な大雨から身を守るために」より)

気象に関する情報の入手先

- ① 気象庁ホームページ
 - ・ 天気予報、気象情報 等
- ② 静岡県土木総合防災情報 (SIPOS RADAR)
 - ・ ピンポイント予報、落雷情報 等
- ③ 国土交通省ホームページ
 - ・ XRAIN GIS版
- ④ 環境省ホームページ
 - ・ 大気汚染物質広域監視システム (そらまめ君)
- ⑤ 全国港湾海洋波浪情報網 (ナウファス)
 - ・ 有義波高、有義周期 (御前崎港) 等
- ⑥ 静岡気象台 業務・危機管理担当 054-286-6919
 - ・ 気象情報、警報、注意報

- (5) 光化学オキシダント注意報が発表されているとき。
- (6) 竜巻注意情報が発表されているとき。
- (7) 雨、風、海の状態については、注意報等の情報に加え、現場の観察により活動参加者の年齢構成、人数、活動の規模に応じて（別表2）の基準をもとに判断し、引率責任者にその結果を報告して必要に応じ協議する。そのうえで、安全に活動を行うことが困難なときには活動を中止する。

その他の活動中止の基準

- (1) 活動参加者の健康状態及び研修態度等により、海洋活動を行うのに適切でないと判断される時。
- (2) 現場海域の船舶の動向、工事や漁業作業等により、安全な活動が行えない時。
- (3) その他、活動担当者が安全な活動を行うのに適切でないと判断した時。

活動中の中止について

活動実施にあたっては、予報等により活動終了まで活動可能と判断できる場合に活動を開始するが、予想外の急変、予報と異なる気象状況の現れがあり、活動終了までに上記の活動中止基準に達すると見込まれた時点で活動を中止する。その際には状況に応じ、以下のように対応する。

- (1) 急激な天候悪化により危険を伴う場合は、緊急上陸地点（資料1）に速やかに移動（漕艇または曳航）し、上陸した後、安全な場所に移動、避難する。
- (2) 天候悪化が認められるが緊急性はない場合は、活動を中止し、乗下船場所（出発地点）に帰還、上陸し帰所する。

(別表1 海洋活動の中止基準と実施条件及び留意点)

注意報	以下の注意報が発表されているときには原則として活動中止とする。 ただし、以下の条件、基準に全て合致する場合には活動可能とし、団体指導者と協議の上活動を行う。				高潮	濃霧
	強風	大雨	波浪	雷		
活動を実施する基準・留意点	注意報が発令されている場合は、 原則活動中止		複数人の目視による観察で、活動エリア海面に白波が確認されない 外港南防波堤上に波頭が観察されない 活動エリアは「小川泊地」に限定、「造船所コース」とする。 本部による気象確認を15分毎に行う。	雷鳴、稲光が観察されない サイポスレーダーの落雷情報により30分以内に半径30キロ圏内に落雷がない 気象庁の雷ナウキャストによる雷雲の活動度が1以下で、活動時間帯に2以上となる予想でない	下記中止基準に該当しない場合	下記中止基準に該当しない場合
	※注意報の内容が「海上」である場合は除外（「注意報発表時」にあたらぬ）	※注意報の内容が「土砂災害に対する警戒」である場合は除外（「注意報発表時」にあたらぬ）				
注意報未発表時の中止基準	活動時間帯における予想及び活動エリアと所内風速計による測定が最大瞬間風速12m/s以上 または、平均風速が10m/s以上	港湾海洋波浪情報ナウファスにて御前崎港有義波高4m以上 清水港有義波高3m以上	気象庁降水短時間予報、降水ナウキャストによる活動エリアにおける時間雨量予想が20mm以上	上記実施基準に合致しない場合	満潮や大潮と重なるなどにより活動エリア内の護岸等に浸水が予想され、活動が安全に実施できないと判断される場合	海上において1000m以上の視界が確保できない場合 ※石津物揚場前より、焼津南防波堤（離岸堤）の赤灯台が視認できない場合
注意報未発表時、通常の活動を実施する条件及び留意点	<ul style="list-style-type: none"> 気象状況を精査し、活動時間中に安全に活動が実施可能な場合には、以下の条件及び留意点に基づき活動を行う。 状況に応じてコース変更や短縮等の対応をとる。 気象状況、注意報の有無、注意すべき状況やコース等について、団体指導者及び活動参加者に知らせ、緊急時の対応、避難については十分に協議、事前指導を行ってから活動を開始する。 					
	風の状況	波の状況	雨の状況	雷の状況	潮の状況	霧の状況
風力だけでなく風向にも留意し、コース、休憩場所を決定する	北から東の風向（ならい）では警戒し、港口付近では、できるだけ外海から離れたコースをとる 消波ブロックや離岸堤に接近しすぎて接触、座礁することがないように注意する	雨具の持参を確認し、必要に応じて着用させる 休憩時に軒下を選定する等の対応をとる 艇内に滞留水が発生したら排出する 乗下船時には濡れて滑る状況に特に注意する	活動中は定期的に気象点検を行い、雷雲の発生についての情報収集を行う （他の気象状況も同様） 雷探知機、ラジオノイズ等により雷雲の接近を知る 雷鳴、稲光を感知した場合には直ちに活動を中止する	乗下船時、休憩時の岸壁上での活動に注意する	監視救助艇は灯火及び音響信号により、位置を示しながら活動する 霧発生時は南防波堤寄りのコースは避け、駿河湾からの入港船の影響を避ける	
離岸、着岸時、乗下船時の船の動揺に注意する	離岸、着岸時、乗下船時の船の動揺に注意する					
<ul style="list-style-type: none"> 全ての気象判断は、必ず複数の所員、海洋指導員で確認し、団体指導者とも情報を共有する。 活動中は絶えず複数の所員、海洋指導員で観天望気を行い、気象状況の変化を捉えることに努める。 						

記入例

海洋活動申込書(事前調査書)

※ 利用申込書とあわせて、使用日の前月1日(4月、5月利用団体は使用日の前月10日)までに提出してください。
 ※ 海洋活動研修会の内容を御理解の上、団体の活動目的に応じて御記入ください。

団体名	〇〇市立〇〇小学校 第4学年	担当者氏名	静岡 太郎
電話番号	054-〇〇〇-〇〇〇〇	FAX番号	〇〇〇-△△△△
活動予定日	7月 11日(木) 午前・ 午後	海洋活動研修会参加日	6月 16日 <input type="checkbox"/> 参加済み・ <input checked="" type="checkbox"/> 予定
		予備日の設定(希望)	あり → 7月 12日(金) 午前 ・午後

**研修会の参加は必須です。
 参加日を記入してください。
 (研修会の申し込み等詳細はP14)**

1 海洋活動をするにあたっての目的やねらい

- ・ 焼津の海のいろいろな景色を児童に見せたい。
- ・ 思い出に残る楽しい活動をさせたい。
- ・ 皆で協力することの大切さを感じさせたい。
- ・ タイミングを合わせて、カいっぱい漕がせたい。

2 活動方法についての希望 ※ コースについては「海洋活動エリアマップ」(表紙裏)を参照

コース選択	コース名	概要
① (○)	造船所・赤灯台コース	全艇での活動、艇庫休憩(1回目:造船所、2回目:赤灯台)
② ()	造船所コース	乗換えでの活動、艇庫上陸乗船者交代
③ ()	赤灯台コース	乗換えでの活動、艇庫上陸乗船者交代
④ ()	小川魚市場コース	全艇往復での活動、小川魚市場上陸休憩
⑤ ()	アクアコース	全艇往復での活動、鯛ヶ島岸壁上陸休憩
⑥ ()	その他【短縮コース等】	短い造船所コース、その他短縮での活動 など・・・要望等にお書きください。

※ コースは実施当日の天候や状況により、御希望と異なる場合があります。
 ※ 諸事情により活動の御希望に添えない場合があります。

3 乗船者について ※ 希望艇数については「参考資料」(P16)を参照

乗船者	研修生	男 42人	指導者	男 3人	計	男 45人	合計	86人	希望艇数	7艇
		女 39人	女 2人	女 41人						

特に配慮を要する研修生について(活動への参加状況など) ※ 記載された情報は海洋活動を安全に行う目的以外には使用しません。

- ・ ○○ ○美…多動傾向あり。薬を服用していれば落ち着く。担任が同乗する予定。
- ・ □□ □雄…外国籍。日本語が全く通じない。
- ・ △△ △男…ぜんそく。養護教諭が同乗する。
- ・ ◇◇ ◇恵…てんかん。教員が同乗する。

**実際に乗船する人数
 (陸上待機の人数は含めない。)**

※その他に配慮が必要な研修生については打合せで確認します。

4 スポーツドリンクについて

レストラン部に注文済み
 レストラン部に注文予定
 団体で用意

5 要望等

・ 昨年度は〇〇だったので、今年度は〇〇してもらいたい。
 (例: 活動時間について、指導についてなど)
 ・ 陸上待機の職員用に自転車を1台貸してください。

**「要望等」もご記入ください。
 (昨年度の改善点や活動に関わること)**

受付	月	日	時間	場所

**いずれかを選択
 (ドリンクの扱いは
 P10水分補給について)**

〇〇〇〇〇〇学校 担当者 様

静岡県立焼津青少年の家
海洋活動担当

本所利用における海洋活動について

この度は、貴団体の研修に当所を御利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、海洋活動は当所のメインプログラムであるため、希望される団体も多く、また、安全上の配慮が必要な活動でもあります。つきましては、円滑な実施のため、貴団体の海洋活動を下記のとおり調整させていただきますのでお知らせいたします。

記

	第 1 回	第 2 回 (予備日)
実施日時	月 日 () 午前・午後	月 日 () 午前・午後
艇番号 (艇数)	号艇 ~ 号艇 (艇使用)	号艇 ~ 号艇 (艇使用)
コース	() 造船所・赤灯台コース () 造船所コース () 赤灯台コース () 小川魚市場往復コース () アクアスコース () その他	() 造船所・赤灯台コース () 造船所コース () 赤灯台コース () 小川魚市場往復コース () アクアスコース () その他
その他	・状況に応じて、コースを変更する場合があります。 ・「造船所・赤灯台」、「造船所」、「赤灯台」コースは、艇庫での乗換えです。	

活動までに準備していただくことなど

1 乗船者名簿の作成及び提出

カヌーの数により各艇に8人~16人の人数を割り振り、活動グループを作成してください。

- ・活動グループごとに、座席を決めておき、研修生が覚えておくよう御指導ください。
- ・1番席及び8番席は必ず配置してください。(詳細は海洋活動実施の手引きを参照)
- ・「乗船者名簿」の様式は、本所ホームページからダウンロードできます。
- ・乗船者名簿の提出は、**入所日の1週間前までに「焼津青少年の家」必着**をお願いします。
(E-mail: YCC-yaizu01@pref.shizuoka.lg.jp)

2 団体指導者の乗船について

研修生と一緒にカヌーに乗船し、指導監督していただきます。活動時に1人以上の団体指導者がいずれかの艇に乗船してください。(全ての艇に指導者が乗船する必要はありません。)乗船する指導者についても乗船者名簿に氏名を御記入ください。乗船しない指導者については、車両(自動車、自転車)、徒歩等で休憩場所へ移動し、陸上から活動を支援していただくこととなります。その際、待機している研修生の指導をお願いします。

※ 全艇に、艇長(海洋指導員)が乗船し、舵取りを行います。

3 活動者への事前指導

海洋活動(カヌー漕艇)実施の手引き「**活動参加者への注意事項**」(P10)、「**海洋活動に参加するみなさんへ**」(P11、12)及び「**カヌーに乗るみんなへ!ここがポイントだ!**」(P13)の内容について、研修生へ事前に御指導をお願いいたします。

担 当 事業班 海洋活動担当
電話番号 054-624-4675

焼津青少年の家 海洋活動 乗船者名簿

記入例

記入者氏名:

焼津 太郎

○月 ○日(午前・ 午後)	団体名: ○○市立○○小学校	乗船者人数計: 51
活動について [第1回目] ・ 第2回目 ・ 第3回目	TEL: 054-624-○○○○	艇数: 6

★=声出しリーダー ○=団体指導者 ◇=特に配慮が必要な研修生 ※その他に配慮が必要な研修生については打合せで確認します。

	1号艇		2号艇		3号艇		乗船者数
	左	右	左	右	左	右	
1		焼津 一郎		小川 一郎		石津 一郎	8
2	焼津 二郎		小川 二郎		石津 二郎		
3	焼津 三郎		小川 三郎		石津 三郎		
4		焼津 四郎		小川 四郎		石津 四郎	
5		焼津 五郎		小川 五郎	一色 二郎	石津 五郎	
6		焼津 六郎		☆小川 六郎		石津 六郎	
7	焼津 七郎		◇小川 七郎		石津 七郎		
8	☆焼津 八郎		○焼津 太郎		☆石津 花子		
※艇長	基本の座席配置(8人)						8
※確認	乗船 <input type="checkbox"/> 下船 <input type="checkbox"/>						

「乗船者人数計」は、この1枚の名簿上の人数。

この乗船者名簿が、どの活動のものになるのか○をつけてください。

1番席、8番席は必須(空席不可)

2人掛けを作る場合には、6号艇の数字の順に座席を決定する。(2人掛①→2人掛⑧)

名簿作成上の注意

- 様式は最新版(2024年改訂)を使用してください。様式変更不可。提出された名簿を海洋活動中に所員が使用します。
- 活動グループごと名簿の作成・提出が必要です。(団体を2グループに分け活動する場合、グループごとの名簿を作成し、2枚提出する。)
- 1つの座席に1人掛けでも、左右を指定します。全席1人掛け(8人)の場合、この1号艇が基本の座席配置です。左側:2・3・7・8番 右側:1・4・5・6番
- 乗船者が8人以上の場合は、空席を作らない。8人未満の場合は、1番席と8番席は空席にしない。
- 8人以上乗船する場合は、1席に2人掛けとなる。2人掛けの座席を作る順序は6号艇の数字の順に決定する。また、1つの座席の幅は、約58cmのため2人掛けの際は、体格に十分配慮して配置すること。
- 前詰め、後詰めせず、左右バランスよく配置する。
- 声出しリーダー(☆)、団体指導者(○)は8番席にする。両方とも乗船する場合は、声出しリーダー(☆)を7番席、団体指導者(○)を8番席にする。
- 特に配慮が必要な研修生(◇)がいる場合、団体指導者の前の7番席にし、声出しリーダーは6番席にする。
- 氏名の左に☆、○、◇印をつける。
- この他にP17の説明も参考にしてください。

	5号艇		6号艇		乗船者数
	左	右	左	右	
1		田尻 一郎	2人掛⑥	和田 一郎	10
2	田尻 二郎		和田 二郎	2人掛④	
3	田尻 三郎		和田 三郎	2人掛⑦	
4		田尻 四郎	2人掛⑤	和田 四郎	
5	一色 太郎	田尻 五郎	2人掛①	和田 五郎	
6		田尻 六郎	2人掛③	和田 六郎	
7	田尻 七郎	一色 二郎	和田 七郎	2人掛②	
8	☆田尻 八郎		☆和田 八郎	2人掛⑧	
※艇長					8
※確認	乗船 <input type="checkbox"/> 下船 <input type="checkbox"/>				

- 座席は記入例(P7)をよく読み、配置してください。(基本)
- ※欄は記入しないでください。
- 使用する艇番号は、焼津青少年の家に確認してください。
- 入所日1週間前までに「焼津青少年の家」に必着で提出を

(Email可: 054-623-0768 YCC-yaizu01@pref.shizuoka.lg.jp)

海洋活動における地震、津波への対応について

令和8年2月作成

	南海トラフ地震臨時情報			津波警報 発表時	津波注意報 発表時	緊急地震速報発表時 地震発生時
	(調査中)	(巨大地震注意)	(巨大地震警戒)			
所⇄艇庫 移動時	①活動中止 ②帰所 ③点呼	①活動中止 ②帰所 ③点呼	①活動中止 ②所又は津波避難タワーへ避難 ③点呼 ※状況に応じて安全が確保される ときは、団体責任者と協議の上 青少年の家へ避難する。	①活動中止 ②所又は津波避難タワーへ避難 ③点呼	※津波警報発表時に準ずる。	①活動中止 ②自分の頭と身体を守る ③揺れが収まったら、所又は津波 避難タワーへ避難 ④点呼
乗船前後	①活動中止 ②帰所 ③点呼	①活動中止 ②帰所 ③点呼	①活動中止 ②最寄りの焼津市指定津波避難ビ ル又は津波避難タワーへ避難 ③点呼 ※状況に応じて安全が確保される ときは、団体責任者と協議の上 青少年の家へ避難する。	①活動中止 ②最寄りの焼津市指定津波避難ビ ル又は津波避難タワーへ避難 ③点呼 ※状況に応じて安全が確保される ときは、団体責任者と協議の上 青少年の家へ避難する。	※津波警報発表時に準ずる。	①活動中止 ②自分の頭と身体を守る ③揺れが収まったら最寄りの焼津 市指定津波避難ビル又は津波避 難タワーへ避難 ④点呼 ※津波警報・注意報が発表された 場合は、左記の対応に準ずる。
乗船中	①活動中止 ②艇庫前へ戻 り、上陸 ③帰所 ④点呼	①活動中止 ②艇庫前へ戻 り、上陸 ③帰所 ④点呼	①活動中止 ②最寄りの緊急上陸地点の岸壁に 上陸 ③最寄りの焼津市指定津波避難ビ ル又は津波避難タワーへ避難 ④点呼 ※状況に応じて安全が確保される ときは、団体責任者と協議の上 青少年の家へ避難する。	①活動中止 ②最寄りの緊急上陸地点の岸壁に 上陸 ③最寄りの焼津市指定津波避難ビ ル又は津波避難タワーへ避難 ④点呼 ※状況に応じて安全が確保される ときは、団体責任者と協議の上 青少年の家へ避難する。	①活動中止 ②最寄りの緊急上陸地点の岸壁に 上陸 ※津波到達予想時刻まで時間に余 裕がある場合は、乗下船場所に 上陸 ③最寄りの焼津市指定津波避難ビ ル又は津波避難タワーへ避難 ※乗下船場所に上陸した場合、又 は津波到達予想時刻まで時間に 余裕がある場合、状況に応じて 安全が確保されるときは、団体 責任者と協議の上、青少年の家 へ避難する。 ④点呼	①活動中止 ②乗下船場所または最寄りの緊急 上陸地点の岸壁へ上陸 ③最寄りの焼津市指定津波避難ビ ル又は津波避難タワーへ避難 ④点呼 ※状況に応じて安全が確保される ときは、団体責任者と協議の上 青少年の家へ避難する。 ⑤地震に関する情報収集及び本部 と連絡 ⑥避難中は建物管理者の指示に従 う ※津波警報・注意報が発表された 場合は、左記の対応に準ずる。

活動参加者への注意事項

団体指導者は、以下の点を全ての活動参加者に事前に御指導ください。また、次ページに研修生向けの説明資料がありますので、事前指導等にお使いください。

☆ 活動の目的を団体指導者と共に確認し、活動参加者が意識しておくようにする。遊び半分の状態では活動させない。自然が相手だからこそ厳しく、油断は許されないことを伝える。

- (1) 活動参加者は、事前に団体指導者から、当日は所員及び海洋指導員から活動についての説明を受け、理解した上で活動に参加する。
- (2) 運動ができる服装で参加し、足下の怪我を防ぐため運動靴、くるぶしが隠れる長さのくつ下を着用する。サンダル（クロックスタイプを含む）は不可とする。熱中症予防のため、帽子は必ず着用する。また、あご紐付きなど、風に飛ばされることがないように注意が必要である。雨天時に使用する雨具（カッパ）は、上下が分かれるものとする。なお、腕時計は外して乗船する。

※ 服装を整えることが安全に対する意識の第一である。

- (3) ライフジャケットを正しく着用する。正しく着用できていれば、万一落水した場合でも体は確実に浮く。落水した場合、つま先を水面に出すように仰向けになって浮かび、静かに救助を待つ。
 - ・ 複数人が落水した場合、近くの人と手をつないで浮かぶ。
 - ・ 乗船をされなくても、乗船場所や海岸付近まで行く方（指導者、見学者、カメラマン等）はライフジャケットを着用する。

※ 確実に装着することで、安全に対しての意識を強化する。

- (4) 乗船、下船はカヌーが確実に着岸している状態で、所員または海洋指導員の指示のもとに行う。

※ 特に怪我や落水の発生しやすい時であり、慎重に行う。

- (5) 乗船中は、所員及び海洋指導員の指示に従う。

※ 指示に従えない場合は活動を中止する。

- (6) カヌーと岸壁との距離が近い時には、手をはさまないようにするため、絶対に船べり（赤ペンキで塗ってある所）をさわらない。
- (7) 乗船中は、必要のない限り立ち上がったたり移動したりしない。
- (8) パドルを1人1本持つ。陸上を移動する際は、パドルを地面に突かないようにする。また、船上でパドルを使用しない時には、両足の間に立てて、両手で持つ。（パドル立ての姿勢）
- (9) 緊急事態発生時（落水、転覆など）は、所員及び海洋指導員の指示に従う。
- (10) 活動参加者は、自分の乗船する艇番号と乗船位置番号及び左右を覚えた上で、活動に臨む。また、可能な限り前後左右に誰がいるか把握し、活動に臨む。

水分補給について

活動エリアの大部分が直接日差しを受ける場所となるため、熱中症等の対策が必要です。団体指導者は活動参加者の水分補給について配慮してください。（中身についてはスポーツドリンクを推奨します。）

- (1) レストラン部にスポーツドリンクを注文する場合

食事注文票にてレストラン部に注文してください。注文は、別冊「レストラン利用について」参照。所が休憩場所まで運搬し、空容器は所が回収します。

- (2) 団体がドリンクを持ち込む場合

団体が運搬し、空容器の処理を行ってください。

- (3) 注文したスポーツドリンクとは別の飲料

気温の高い日などは、海洋活動の前後にも水分をとる方が良いので、麦茶などを入れた水筒等を艇庫までお持ちください。（注文したスポーツドリンクのみでは水分が不足する可能性があります。）また、麦茶等をレストラン部に注文することができます。なお、安全上、水筒等をカヌーに持ち込むことはできません。

かいようかつどう さんか 海洋活動に参加するみなさんへ

やいづせいしょうねん いえ かいようかつどう ほんもの うみ おこな しんけん と く かつどう
 焼津青少年の家の海洋活動は、本物の海で行います。真剣に取り組み、活動
 を最後までやり抜く心と、仲間と力を合わせて、目的地まで船を漕ぐことので
 きる根気強さが必要です。安全な活動とするために、所員や艇長の説明や注意
 が聞けない人や、ふざけていたり不真面目な態度をとったりする人は活動するこ
 とができない場合があります。とてもやりがいのある活動ですので、がんばって
 取り組みましょう。

1 服装と持ち物を整えましょう。

- 運動靴（サンダルなど、かかとやつま先、足の甲が出ている物は不可）
- くつ下（くるぶしがしっかりかくれる長さ）
- 帽子を着用する。（風に飛ばされないよう着用する）
- 汚れてもよい活動的な服装（塗装が付く場合がある。すそが広がるズボン、スカート、乗り降りの時に引っかかりそうな服装は不可）
- 雨天時に活動する場合には上下に分かれたカッパ（ポンチョタイプは不可。コートタイプは乗り降りの時、すそが引っかかって危険）
- 本所出発前に腕時計をはずす。
- 持参した水分を持つ。

2 所員や海洋指導員の指示を守りましょう。特に、カヌーに乗るとき、降りるときが危険です。注意して安全に乗下船しましょう。

- 乗下船時は落水事故が起こりやすいので慎重に行う。
- 岸の方を向き、船に背を向けて後ろ向きに乗船する。（下船時も同様）
- カヌーに乗ったら、必要なく立ち上がったたり、移動したりしない。
- 接岸時は船べりをさわると岸壁とカヌーの間に挟まれて危険なので絶対に船べりをさわらない。（左側の船べりをさわらない）〔下図〕

めだ 自立つように赤くぬってあり
 ます。

ここには絶対にさわらないよ
 うに注意！

「赤いところはさわらない」

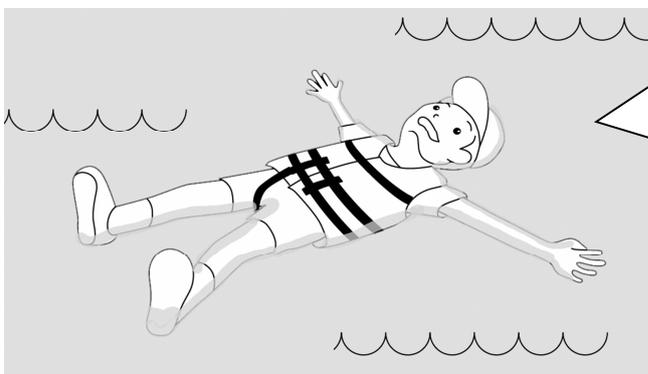


- パドルを1人1本ずつ持つ。体に沿わせて持ち運び、地面を突いたり、引きずったり、振り回したりしない。カヌーに乗ったらパドル立ての姿勢で待つ。

- パドルは所員及び艇長の指示に従って、準備をする。勝手に水に入れたり漕いだりしない。(基本はパドル立ての姿勢)

3 ライフジャケットは正しく着ましょう。

- 海に落ちたときにぬげないように、おなかのベルトは十分に締め込む。(体との間にこぶしが入る程度) また、子供用は股下ベルトを確実に着ける。
- 万一、海に落ちてしまってもライフジャケットを正しく着ていれば体は浮くので、仰向けになり、つま先を水面に出すように浮かび、静かに救助を待つ。
- 何人かが落ちてしまったときは、近くの人と手をつなぎ、仰向けになって救助を待つ。

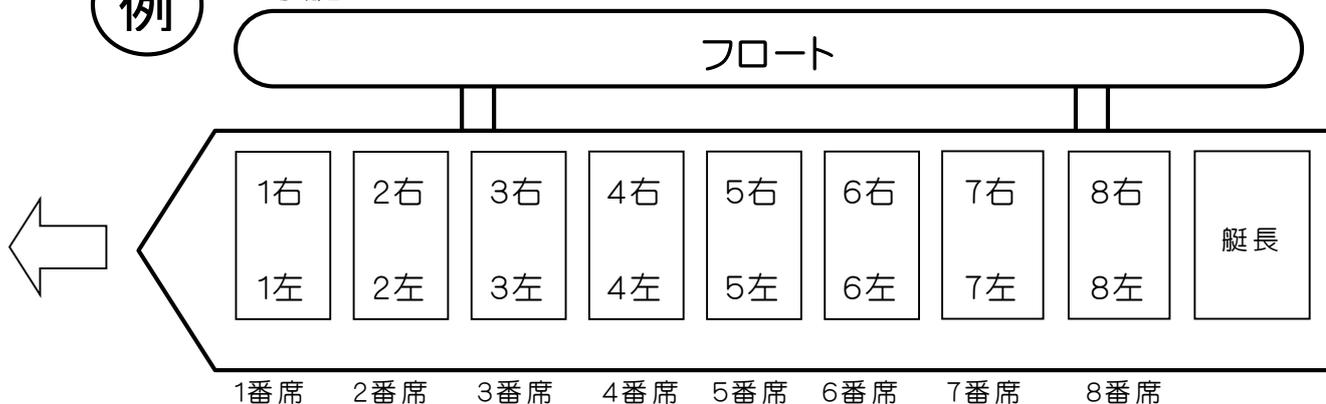


あばれたり、あわてて泳ごうとしたりするとかえって危険です。声を出すと口に水が入ります。静かに力を抜いて浮かんでいきましょう。

4 自分が乗船するカヌーの艇番号と乗船する席の位置(番号・左右)を覚えておきましょう。

- 点呼や整列が素早くでき、安全でスムーズな活動につながる。
- 前後左右の乗船者が互いに確認できると、安全でスムーズな活動になる。

例 1号艇



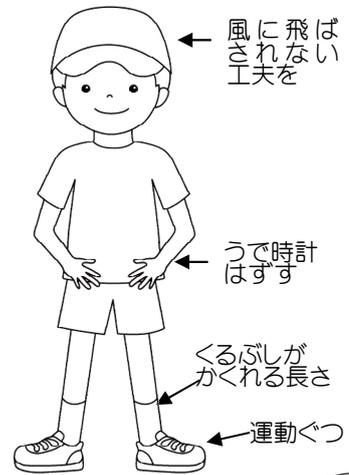
- ※ 1号艇の「1の右」、「2の左」などと覚えましょう。(矢印は進む方向)
- ※ 1つの席に1人で座っても、2人で座っても「右・左」を覚えましょう。
- ※ 艇長は乗る人の名前が分からないため「1番席右の人」などと呼びます。

カヌーに乗るみんなへ！ ここがポイントだ！

1 服装は大丈夫か？チェックポイント！

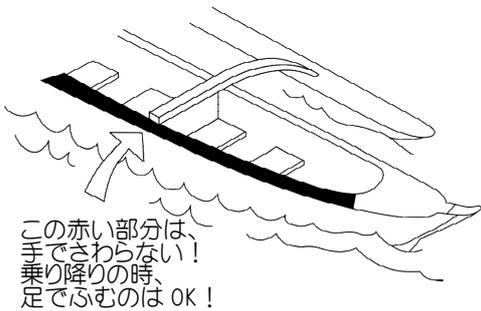
(大人も子どもも焼青スタイル☆)

- 帽子（熱中症対策。風で飛ばされないようにしてね。）
- 汚れても良い服（カヌーの色がつくことがあるよ！）
- 動きやすい服装（すその広がるズボンやスカートは×）
- くるぶしのかくれるくつ下（はだし×くるぶしがみえるくつ下×）
- 運動ぐつ（サンダルなどは×）
- 雨の時は、上下の分かれたカッパ（ポンチョタイプは×）
- うで時計ははずす

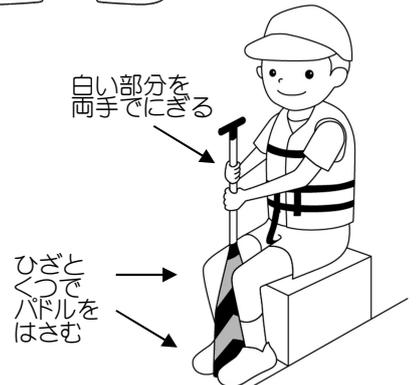
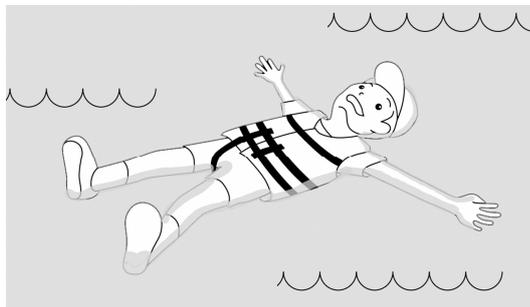


2 安全についての3つの約束

① 『カヌーの赤いところはさわらない！』
コンクリートの壁とカヌーのぶつかる部分。手をはさまると大怪我をするぞ！



② 『浮いて待て！』
もしも海に落ちて、ライフジャケットを着ているから、浮かぶんだ。泳がず、その場で呼吸ができる姿勢で浮いて待とう！

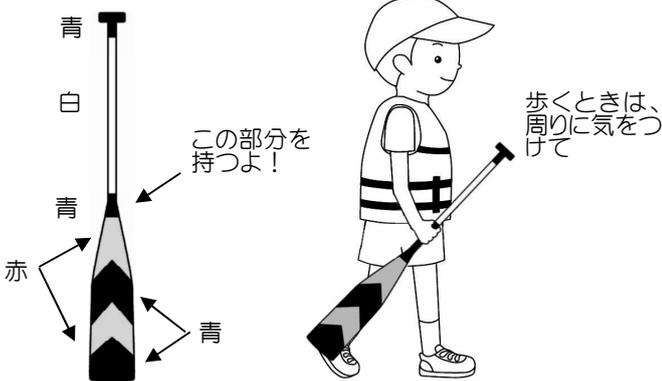


③ 『パドル立ての姿勢（しせい）』
3秒以内にできるかな？不安定なカヌーではパドルは、みんなの安全を守る役目もするぞ！安全姿勢「パドルたての姿勢」をマスターしよう！

【パドルのキ・ホ・ン】

① 持ち運び方

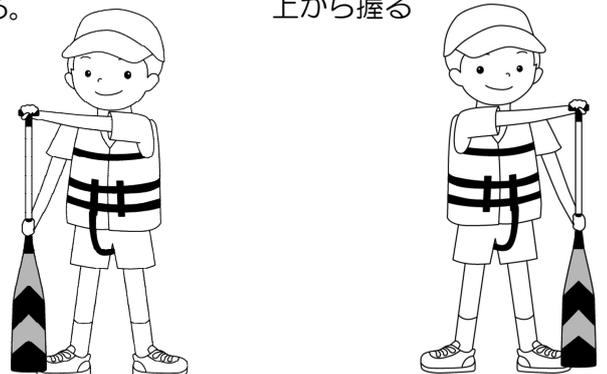
真ん中（青）部分を持つ！木でできているから、つえのように地面をつくことや、振り回すNG。道具は大切に！



② カヌーでこぐときの持ち方

【右側をこぐ人】
右手をパドル真ん中（青）、左手はT部分（青）を上から握る。

【左側をこぐ人】
左手をパドル真ん中（青）、右手はT部分（青）を上から握る

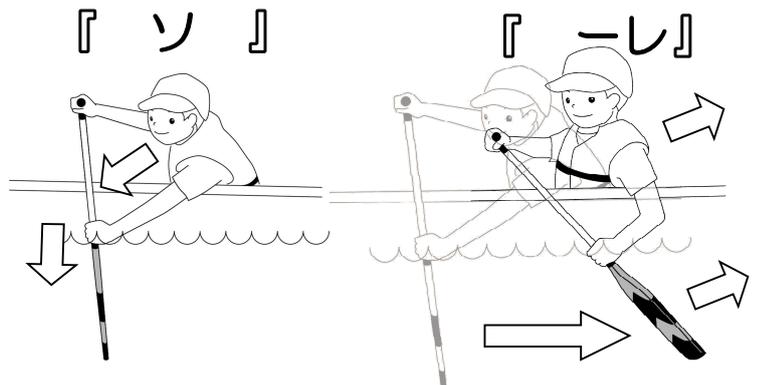


③ カヌーのこぎ方

『1・2・ソーレ』のリズムを覚えよう！

- ・声出しリーダーの「1・2」のかけ声で準備。
- ・みんなは「ソーレ」でタイミングを合わせてこぐよ！

みんなのこぐタイミングがぴったりあえば、カヌーはぐんぐん進んでいくよ！



「ソ」のタイミング体を前にたおし、パドルをまっすぐ海にいれる。手首が入るくらい深くいれよう！

「ーレ」のタイミング体を後ろに起こし、水をたくさんかくようにパドルを引こう！

海洋活動研修会 実施要項

1 趣 旨 海洋活動を実際に体験することを通して、活動のねらいや意義、安全体制及び指導方法への理解を深め、海洋活動を指導する知識や技能を習得する。

2 日 時 第1回 4月14日(火) 12:40～12:50 受付 13:00 開始 16:00 終了
第2回 5月9日(土) 12:40～12:50 受付 13:00 開始 16:00 終了
第3回 6月16日(火) 12:40～12:50 受付 13:00 開始 16:00 終了
第4回 7月4日(土) 12:40～12:50 受付 13:00 開始 16:00 終了
第5回 9月27日(日) 12:40～12:50 受付 13:00 開始 16:00 終了

※ 令和8年度に実施予定の団体は、上記の中で、必ず参加してください。

3 対 象 本所を利用予定の団体のうち、海洋活動を行う団体、又は希望する団体の指導者

4 内 容 ① カヌー漕艇研修
② 事前の計画や準備、活動参加者への指導などについての研修
③ 安全体制、緊急時の対応についての研修

5 申込み 本所ホームページ『海洋活動研修会 申込みフォーム』(又は右記、2次元コード)より、**参加日の2週間前**までに入力を完了し、お申込みください。正しく入力が完了した場合には、登録したメールアドレスに必ず自動返信メールが届きます。自動返信メールが届かない場合には、本所まで御連絡ください。**指導者研修会(4月、6月)に申込みをされた学校も、海洋活動を行う場合は、必ず海洋活動研修会に申し込みをしてください。**



6 持ち物 ○タオル ○カップ(上下分かれたもの…ポンチョタイプは不可)
○筆記用具 ○海洋活動(カヌー漕艇)実施の手引き(本冊子)
○室内履き ○水分補給用の飲み物 ○必要に応じてカメラ等

7 服 装 ○帽子 ○運動できる服装 ○運動靴(サンダル不可)
○くつ下(くるぶしの隠れる長さ)

※ 服装についての詳細は本資料P10を参照してください。

8 その他

- ・ 海洋活動を希望する団体指導者は必ず参加をしてください。**研修会に参加していない団体については、海洋活動を実施できません。海洋活動の実施年度ごとに研修会の参加が必須です。**
- ・ **研修会には海洋活動の実施日に担当する団体指導者が、参加してください。**
- ・ 雨天時や荒天時でも研修会は実施します。(台風等による中止の場合は、本所より連絡します。)

静岡県立焼津青少年の家
担当 事業班 海洋活動担当
T E L 054-624-4675

海洋活動申込書(事前調査書)

※ 利用申込書とあわせて、使用日の前月1日(4月、5月利用団体は使用日の前月10日)までに提出してください。
 ※ 海洋活動研修会の内容を御理解の上、団体の活動目的に応じて御記入ください。

団体名		担当者氏名	
電話 番号	FAX 番号	海洋活動研 修会参加日	月 日 <input type="checkbox"/> 参加済み・ <input type="checkbox"/> 予定
活動予定日	月 日() 午前・午後	予備日の設定 (希望)	あり → 月 日() 午前・午後 なし

※御希望に添えない場合もあります。

1 海洋活動をするにあたっての目的やねらい

2 活動方法についての希望 ※ コースについては「海洋活動エリアマップ」(表紙裏)を参照

コース選択	コース名	概要
① ()	造船所・赤灯台コース	全艇での活動、艇庫休憩(1回目:造船所、2回目:赤灯台)
② ()	造船所コース	乗換えでの活動、艇庫上陸乗船者交代
③ ()	赤灯台コース	乗換えでの活動、艇庫上陸乗船者交代
④ ()	小川魚市場コース	全艇往復での活動、小川魚市場上陸休憩
⑤ ()	アクアスコース	全艇往復での活動、鯛ヶ島岸壁上陸休憩
⑥ ()	その他【短縮コース等】	短い造船所コース、その他短縮での活動 など・・・要望等にお書きください。

※ コースは実施当日の天候や状況により、御希望と異なる場合があります。
 ※ 諸事情により活動の御希望に添えない場合があります。

3 乗船者について ※ 希望艇数については「参考資料」(P17)を参照

乗船者	研修生		指導者		計	合計		希望艇数
	男	女	男	女		男	女	
								艇

特に配慮を要する研修生について(活動への参加状況など) ※ 記載された情報は海洋活動を安全に行う目的以外には使用しません。

※その他に配慮が必要な研修生については打合せで確認します。

4 スポーツドリンクについて

レストラン部に注文済み
 レストラン部に注文予定
 団体で用意

5 要望等

受付日	所長	所長補佐	事業班長	事業班員	海洋担当
月 日					

焼津青少年の家 海洋活動 乗船者名簿

記入者氏名:

月 日 (午前・午後)	団体名:	乗船者人数計:
活動について [第1回目 ・ 第2回目 ・ 第3回目]	TEL:	艇 数 :

★=声出しリーダー ○=団体指導者 ◇=特に配慮が必要な研修生 ※その他に配慮が必要な研修生については打合せで確認します。

	1号艇		2号艇		3号艇		4号艇	
	左	右	左	右	左	右	左	右
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
乗船者数								
※艇長								
※確認	乗船 <input type="checkbox"/> 下船 <input type="checkbox"/>							

	5号艇		6号艇		7号艇		8号艇	
	左	右	左	右	左	右	左	右
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
乗船者数								
※艇長								
※確認	乗船 <input type="checkbox"/> 下船 <input type="checkbox"/>							

- ・ 座席は記入例 (P7) をよく読み、配置してください。(基本の座席位置が決められております。)
- ・ ※欄は記入しないでください。
- ・ 使用する艇番号は、焼津青少年の家に確認してください。
- ・ **入所日1週間前までに「焼津青少年の家」に必着で提出をお願いします。**
(Email可: 054-623-0768 YCC-yaizu01@pref.shizuoka.lg.jp)

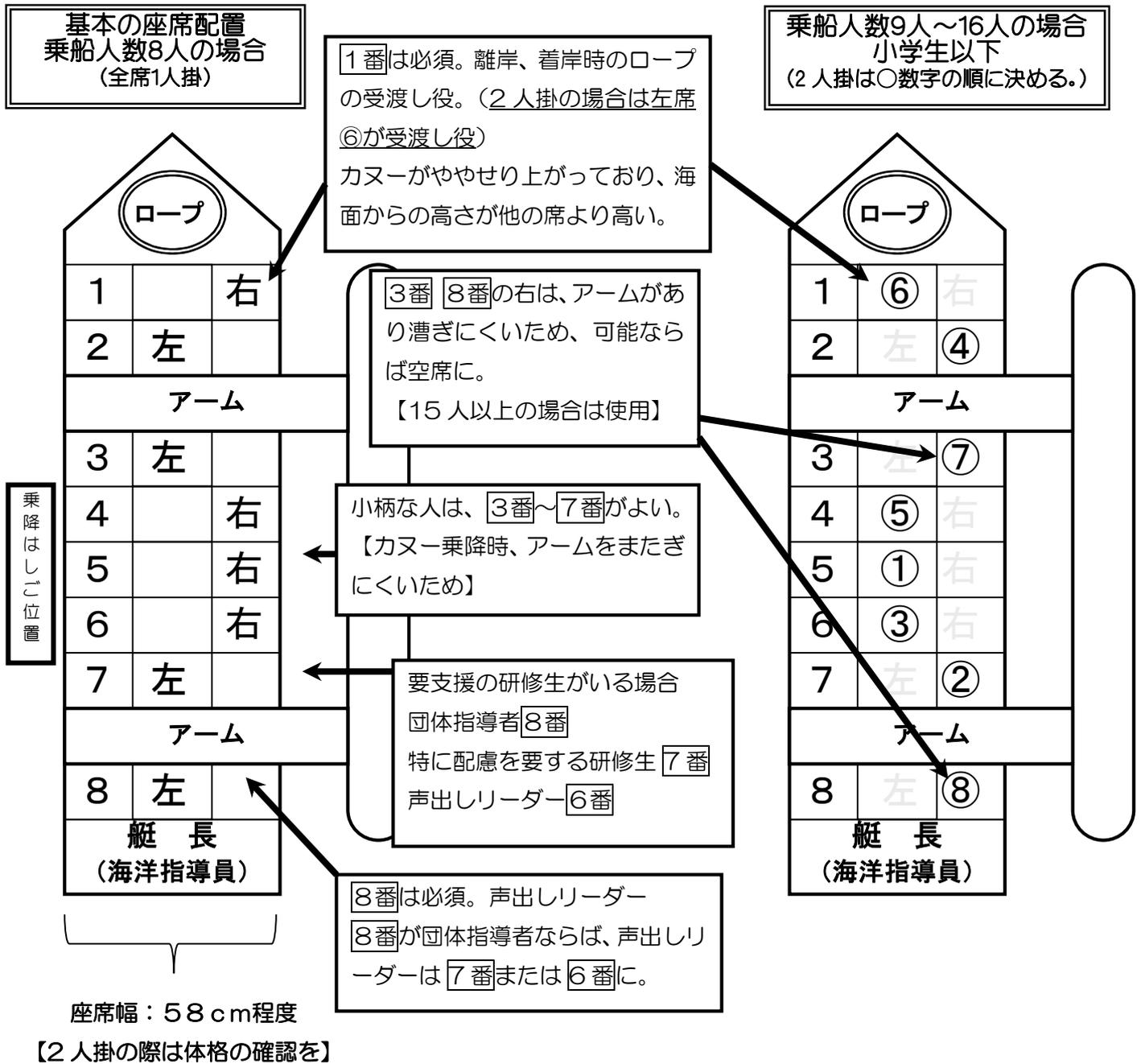
参考資料

乗船者名簿の座席指定・座席番号札について

- 乗船者名簿を作成する際の参考にしてください。記入例（P8）と重複することもあります。

＜使用艇数の目安 小学生以下の場合＞

- 小学生の団体の多くは、1艇あたり概ね12人程度を目安としています。
- 1艇あたりの乗船可能最大人数は乗船者の体格によります。（座席幅:58cm程度）
- 使用可能艇数により、希望艇数を減らしていただく場合もあります。（複数団体利用時など）





静岡県立焼津青少年の家

〒425-0041 静岡県焼津市石津 2259-408

TEL 054-624-4675 FAX 054-623-0768

E-mail YCC-yaizu01@pref.shizuoka.lg.jp

HP <https://yaisei.jp/>